

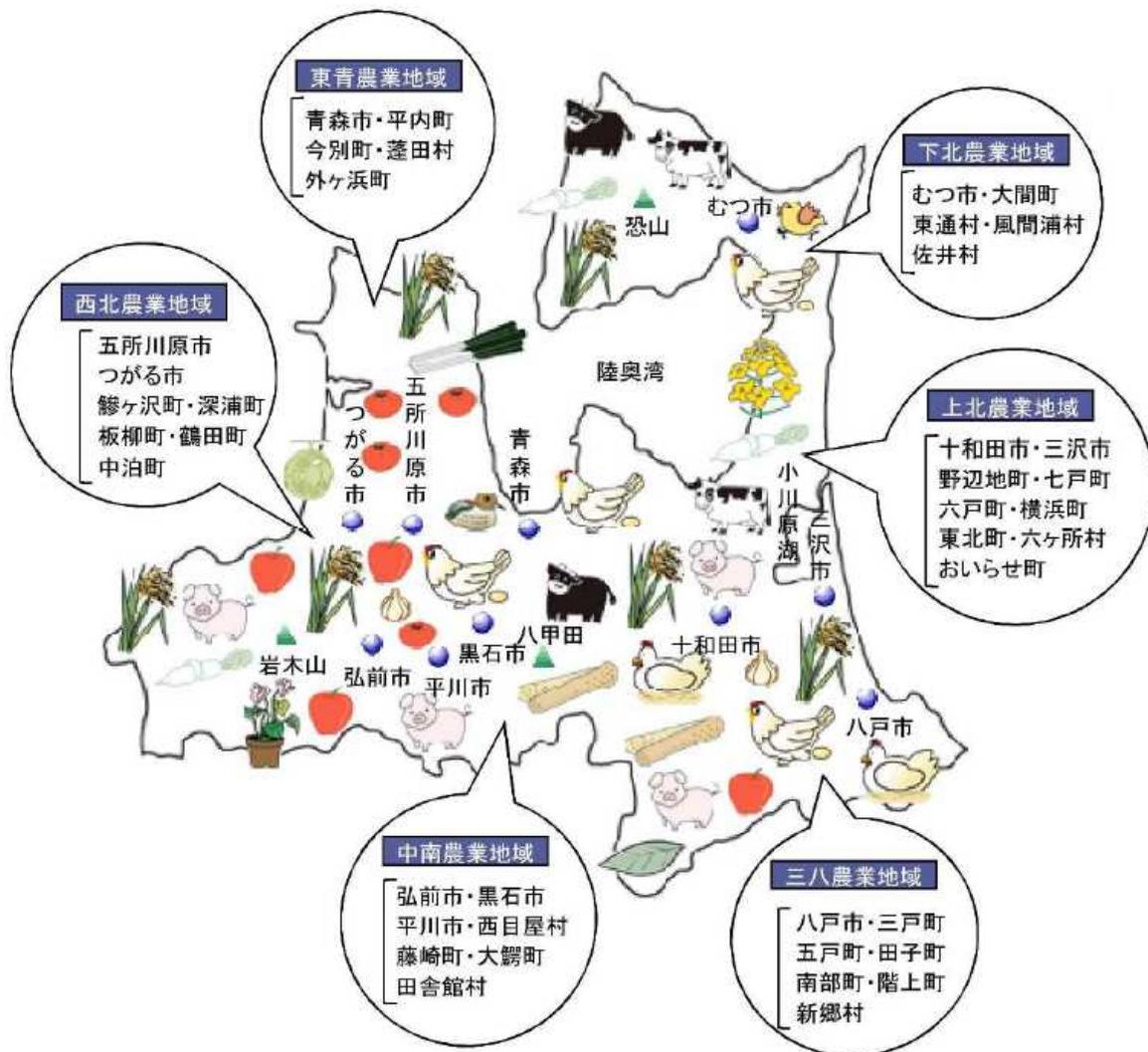
青森県における普及指導活動の体制

1 地域別農業の概要

地域別の農業産出額は、東青・中南・西北農業地域では、米とりんごが上位を占め、特に中南農業地域は、世界でも有数のりんごの一大産地を形成している。

また、三八・上北・下北農業地域では、野菜、畜産が重要な地位を占めている。

県全体の産出額の作目別構成比は、多い順に、畜産、りんご主体の果実、野菜、米で、バランスが取れた構成となっている。



地域別農畜産物算出額上位品目 (H29年)

順位	県計	東青	中南	三八	西北	上北	下北
1	果実	米	りんご	野菜	米	野菜	鶏卵
2	野菜	果実	米	ブローラー	果実	豚	野菜
3	米	鶏卵	野菜	鶏卵	野菜	肉用牛	肉用牛
4	豚	野菜	-	果実	-	米	-
5	鶏卵	-	-	米	-	鶏卵	-

資料：生産農業所得統計

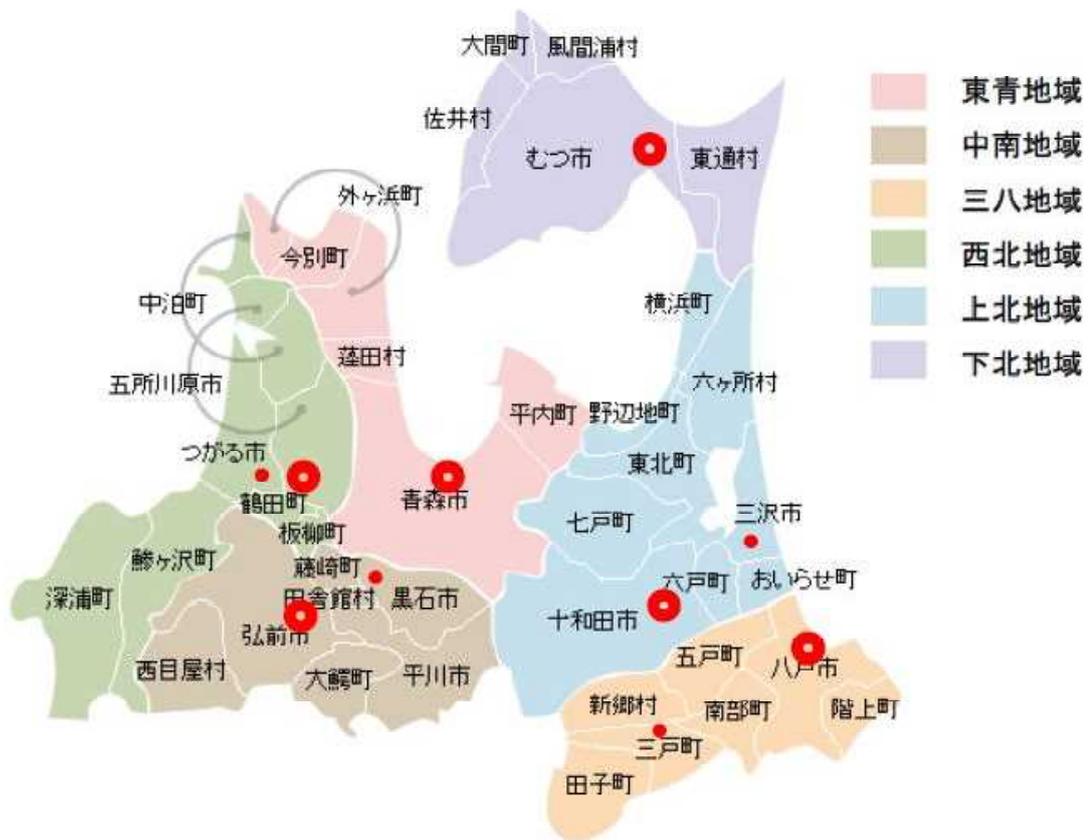
2 普及指導の組織体制

(1) 農業普及振興室の設置

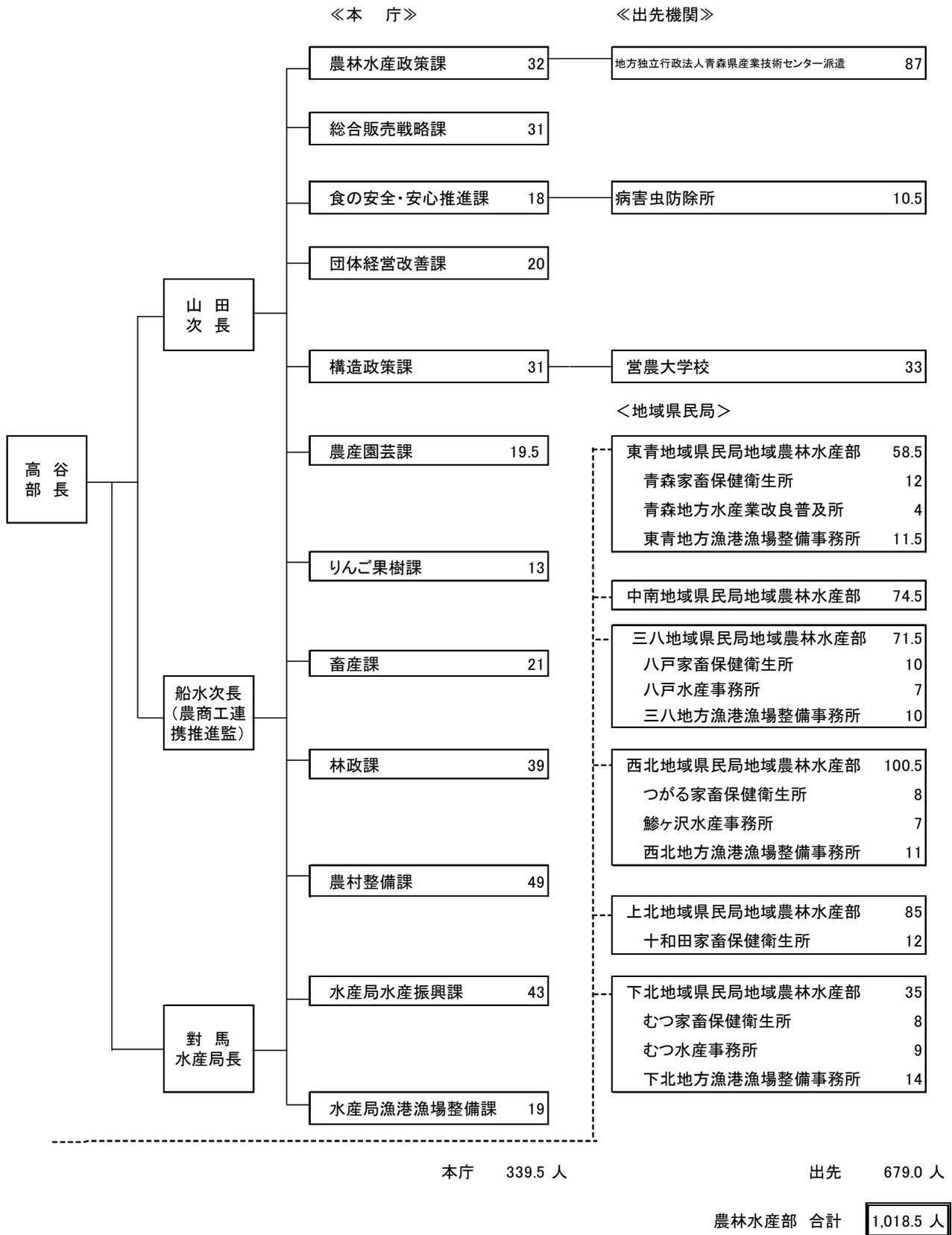
県内6箇所の地域県民局地域農林水産部に「農業普及振興室」を設置し、農業者等の利便性を考慮し、黒石市、三戸町、つがる市、三沢市の4箇所に分室を配置している。

(2) 農業革新支援センターの設置

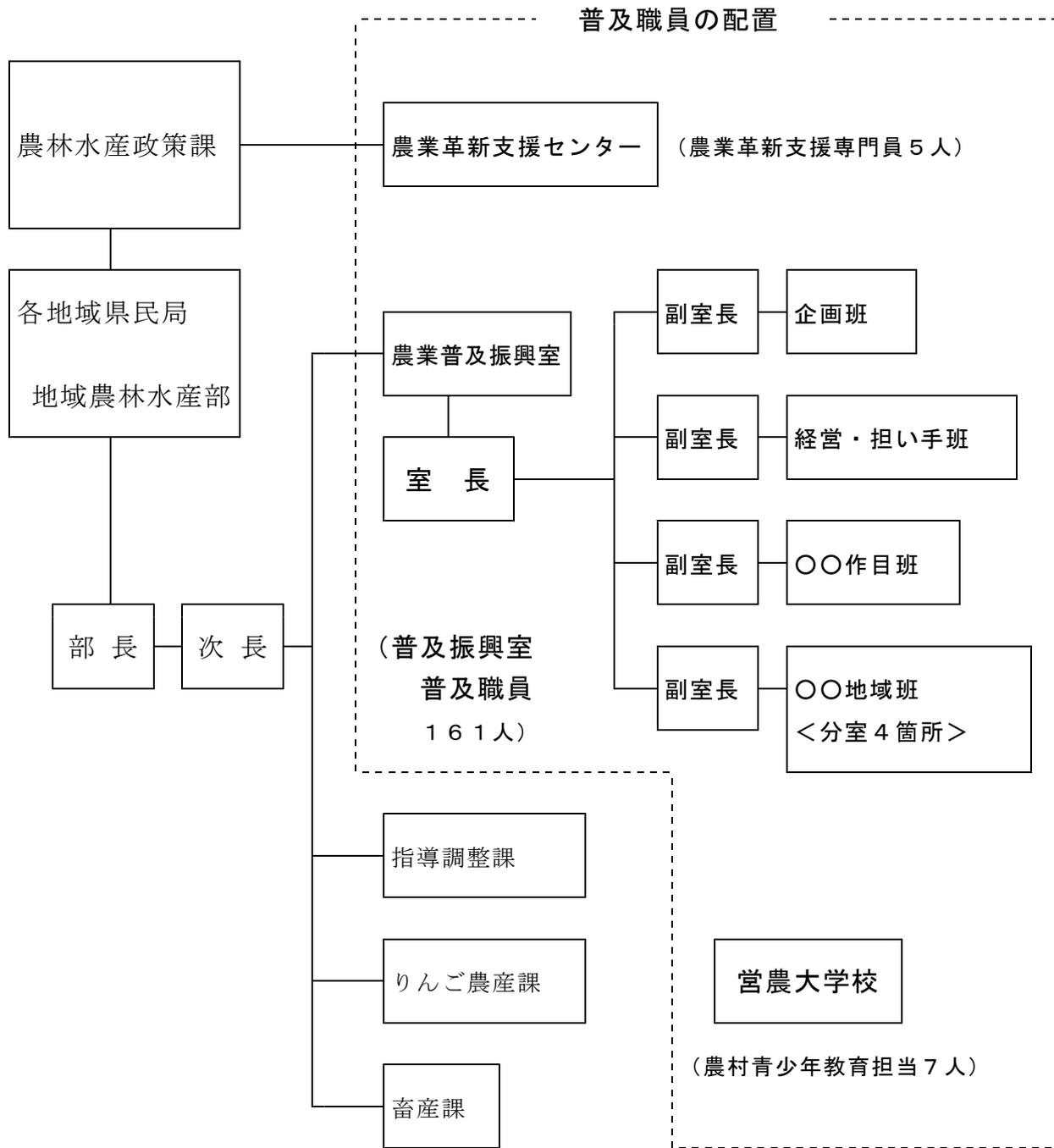
農林水産政策課内に農業革新支援センターを設置し、土地利用型作物、野菜、果樹、経営、農山漁村女性活動を主担当とする5人の農業革新支援専門員を配置している。



(3) 農林水産部の組織体制



(4) 普及部門の組織体制



2 普及職員の設置状況

(1) 普及職員1人当たり農業産出額及び販売農家数の東北各県等との比較

(単位：億円、戸、千ha、人)

区分	農業 産出額 (A)	販売 農家数 (B)	耕地 面積 (C)	普及 職員数 (D)	普及職員1人当たり		
					農業産出額 (A/D)	販売農家数 (B/D)	耕地面積 (C/D)
青森県	3,103	34,866	150.5	173	17.9	201.5	0.87
岩手県	2,693	45,254	149.8	202	13.3	224.0	0.74
宮城県	1,900	37,533	126.3	158	12.0	237.6	0.80
秋田県	1,792	37,810	147.1	98	18.3	385.8	1.50
山形県	2,441	32,355	117.3	137	17.8	236.2	0.86
福島県	2,071	52,270	139.6	252	8.2	207.4	0.55
東北計	14,000	240,088	834.1	1,020	13.7	235.4	0.82
全国計	93,787	1,329,591	4,220	7,294	12.9	182.3	0.58

資料 農業産出額：H29生産農業所得統計

販売農家数：2015年農林業センサス

耕地面積：R1耕地面積統計（7月15日現在）

普及職員数：H31普及事業活動体制調査

（実務経験中職員及び農村青少年教育担当を含む）

(2) 本県における普及職員の動向

行財政改革等により全国の普及職員や県の行政職員が減少しており、普及職員数も同様に減少傾向にあり、26年と対比して96.1%の173人となっている。

地域別では、三八を除く全ての地域で減少し、特に西北が減少している。

(単位：人、%)

地域名	H26	H31	普及職員増減割合 (H31/H26)
東 青	23	22	95.7
中 南	34	32	94.1
本室 黒石分室	27 7	26 6	96.3 85.7
三 八	26	26	100.0
本室 三戸分室	21 5	21 5	100.0 100.0
西 北	36	33	91.7
本室 つがる分室	24 12	24 9	100.0 75.0
上 北	36	35	97.2
本室 三沢分室	30 6	29 6	96.7 100.0
下 北	14	13	92.9
農林水産政策課 (農業革新支援専門員)	5	5	100.0
営農大学校 (農村青少年教育担当)	6	7	116.7
県 計	180	173	96.1
全 国 計	7,367	7,294	99.0
<参考> 県行政職員	3,926	3,783	96.4

※1 基準年は県の行財政改革実施計画（H26.3月）の策定年度とした。

※2 普及職員数は育児休暇中等の職員を除いた。

3 職員の資質向上の取組状況

普及指導員の能力を継続的に向上させ、長期的な視点から普及事業に必要な人材を育成するために、目指すべき人材像や求められる資質、人材育成に向けた取組方針等を記載した「青森県普及指導員人材育成計画」を平成28年2月に策定した。

また、普及指導職員に求められる高度・先進的な技術指導能力及び地域農業の課題解決能力を強化するため、毎年度、「普及指導員研修実施計画」を策定し、職員個々の能力や研修に対するニーズを把握しながら、国及び県段階の研修等を効果的に組み合わせて、資質向上を図っている。

(1) 令和元年度研修実施計画を見直した事項

ア 国等が実施する研修

特に、人材育成や課題解決能力向上に係る研修に受講者を派遣し、効果的なOJT手法や普及指導活動を行うためのマネジメント手法を習得させる。

イ OJT研修検討会の実施

第1期及び第2期終了後、第3期中間のOJT研修を追加する。

(2) 県が実施する研修（農林水産政策課が実施する研修）

ア 集合研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
新任者基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・「攻めの農林水産業」と普及指導員の役割【講義】 ・協同農業普及事業の概要と普及指導活動の基本【講義】 ・普及指導員資格試験対策【講義】 	1日	配属者数	普及職員1年目の者	6	9
普及指導員養成研修	<ul style="list-style-type: none"> ・普及指導員資格試験対策【講義、演習】 ・普及指導活動の進め方【講義、演習】 ・論文作成及び添削指導【演習(随時)】 ・普及指導員資格試験【受験】 	6日	—	普及職員2年目以降の普及指導員資格未取得者	79	53
農業経営基礎研修	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の基礎【講義、演習】 ・経営分析手法の基礎知識【講義、演習】 	3日	—	普及職員2年目の者等	15	8

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
専門技術強化研修	農業経営、青年農業者育成、農山漁村女性活動・農産加工、土地利用型作物、野菜、花き、果樹、畜産、普及指導活動の専門ごとに課題解決のための研修を実施【講義、演習等】	専門ごとに3日程度	—	普及職員	129	108

イ 派遣研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
農家派遣研修	先進的農業者での農業及び生活体験【実習】	20日程度 (2週間×2回)	—	原則として県職員採用5年未満で普及職員1年目の者	4	8
専門技術向上研修	部門別の基礎技術・知識の習得【講義、実習等】	20日程度 (2週間×2回)	配属者数	普及職員2年目の者 (試験研究機関等において実務経験のある者を除く)	9	—
農業経営アドバイザー研修	農業経営アドバイザー資格取得に向けた研修【講義、演習】	7日	1	経営改善支援担当者	1	1
担い手育成研修	全国青年農業者育成研究集会等への派遣【講演、分散会】	2日	3	担い手育成担当者	1	2

ウ 農業普及振興室が実施する研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
新任普及職員OJT研修	・普及指導員をトレーナーとするOJT方式で普及活動手法を習得【OJT研修】	—	—	新任普及職員	14	16

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
現場ニーズ対応 企画研修	・地域の課題解決のための県 外先進地の調査・分析 【事例調査】	1～ 2	12名 程度	普及職員	3	4

県が実施する研修 出席者合計	266	209
----------------	-----	-----

※ R元年度出席者は、11月末現在

(3) 国等が実施する研修

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
普及指導員養成 研修Ⅱ(経験者 コース)	・普及指導員の役 割・目的意識の 醸成等、協同農 業普及事業全般 の知識の習得	4	50	普及組織に所属後、2、 3年目の普及職員等	9	6
新任農業革新支 援専門員研修	・農業革新支援専 門員の役割、目 的意識の醸成と 業務推進方法の 習得	3	50	新任の農業革新支援専 門員	1	1
新任普及指導セ ンター所長研修	・普及組織の総合 力の発揮に向けた マネジメント 手法等の習得	2	70	新任の普及指導センタ ー所長	1	—
普及指導員実務 能力習得研修Ⅲ (マネジメント ・人材育成コー ス)	・効果的なマネジ メント手法及び 人材育成手法の 習得	4	50	普及指導経験がおおむ ね10年以上のチームリ ーダーの役割を担う普 及指導員	1	—
鳥獣被害防止対 策支援研修	・鳥獣被害防止手 法や地域におけ る体制整備手法 の習得	4	40	鳥獣被害防止対策にお いて指導的役割を担う 普及職員等	1	1
スマート農業研修 (畜産)	・畜産分野におけるIC Tの開発状況や取組状 況の理解と課題解決推 進	3	50	スマート農業(畜産)にお いて指導的役割を担う普 及職員等	1	—

研修名	内容	期間 (日)	人数 (人)	対象者	出席者(人)	
					R1	H30
農福連携推進研修	・農福連携、障害者の就労支援に関する施策等の理解と課題解決推進	4	25	農福連携推進において指導的役割を担う普及職員等	1	—
東北ブロック普及職員研修（スマート農業技術の普及）	・スマート農業の知見習得と効果的な普及指導方法の習得	2	30	普及職員	1	3
普及指導員実務能力習得研修Ⅳ（課題討議上級コース）	・地域における効果的・効率的な普及指導活動を行うためのマネジメント手法の習得と民間企業との連携	3	30	普及指導経験がおおむね20年以上の普及職員	1	—
果樹生産体制強化支援研修	・果樹産地育成と生産流通体系構築に対する支援方法の習得	4	30	果樹生産体制強化について指導的役割を担う普及職員等	1	—
新規就農支援研修	・新規就農における支援方法習得と関係機関との連携方法	3	40	新規就農支援について指導的役割を担う普及職員等	1	—

国等が実施する研修 出席者合計	19	11
-----------------	----	----

※ R元年度出席者は、11月末現在